

令和7年第2回木津川市議会定例会（6月16日）

一般質問通告書

1	山崎 光祐
	質問事項： 特定外来生物への対処・対応は
質問 要 旨	先月中旬に地元自治会で溝掃除を実施した際、住民の方から、近くの公園でセアカゴケグモが繁殖していて、子供たちが遊ぶことを考えると怖い、というお話を伺いました。 国立環境研究所の侵入生物データベースによりますと、このクモは神経毒を有しており、国内初記録は1995年。原産地はオーストラリアと考えられているが、判然としない。建築資材などに紛れ込んで侵入した、とされています。国内での初記録がちょうど30年前のことですが、当時、テレビのワイドショー番組などで大きく取り上げられていたことを覚えています。当時の報道に接していた方は、毒グモであることから過剰に危険な生物のイメージを有している方が多いのではないかと感じています。しかし実際には、本市のホームページでも「セアカゴケグモは毒を持っていますが、性質はおとなしく、突つかれると驚いて逃げ出し、死んだまねをするなど、攻撃性もないクモです。屋外で巣の上に座ったり、素手でさわらない限りかまれることはまずありません。」と記載されているように、対処法さえ間違えなければ危険の少ない生物と考えられます。とはいえ、市立の保育園でもイラストなどで園児へ注意喚起をしているように、本市では完全に定着しているとみられます。また攻撃性はないとはいえ、咬まれた場合、重篤な健康被害が出る可能性もあるため、市民への適切な情報提供が求められると考えます。 また環境省の令和6年度「特定外来生物の市町村別侵入状況の把握のためのアンケート」調査によれば、本市ではセアカゴケグモ以外にも、ヌートリア、アライグマ、コクチバス、アメリカザリガニ、そして植物のオオキンケイギクが確認されているとなっております。 そこで、以下3点お尋ねします。 (1) これら特定外来生物による市民への健康被害や環境への影響などはこれまで確認されていますか。確認されている場合、どのような被害状況であったのか、教えてください。 (2) これら特定外来生物に対する住民への情報提供や対処法などはホームページ以外に、どのように周知されていますか。 (3) 本市のホームページでは特定外来生物の項目にヌートリアやアライグマの記載がありませんが、これまで私が聞き及んだ感覚からすると、特にヌートリアは相当数が生息していると思われます。これらが記載されていない理由は。
2	倉 克伊
	質問事項： 地域が活用できる城陽井手木津川バイパスであることと、その周辺整備について
質問 要 旨	城陽井手木津川バイパスは、平成31年2月に都市計画決定、同年4月に新規事業化され、城陽市から事業着手されています。木津川市内では、令和2年から順次、地籍調査から着手し、併せて国の測量にも着手されています。 そこで、今後の進捗も含めて以下のことをお聞きします。 (1) 現在の工事の進捗状況と今後の進捗予定は。 (2) 予備設計はいつ頃の完成予定か。また、地元地域へ説明は。 (3) このバイパスと併せて要望されてきた府道枚方山城線の進捗は。 (4) バイパスの周辺整備と都市計画の見直しは。 (5) 不動川トンネル内の改修工事について、今日までの市から府への要望内容と昨年の改修工事の内容について聞く。

3 谷川 光男	
質問事項： 小学校のプール施設について	
質問 要 旨	市内小学校のプール施設については、令和４年度から学校プールから民間プールへ順次移行され管理されている状況であります。施設の老朽化と利活用を含めお尋ねします。 (１) 各小学校プール施設の使用状況と経過年数等は。 (２) 令和７年度の夏にプールを使用される学校は。また、その学校のプールの耐用年数は。 (３) プールとして使用されていない施設は、今後どのようにされるのか。 (４) 民間プール使用日数及びそれに伴う経費は。
質問事項： J R 上狛駅舎等の改良工事について（その２）	
質問 要 旨	西日本旅客鉄道株式会社（以下「J R 西日本」という。）が実施する J R 上狛駅舎改良工事に併せ、市施工分のスロープ設置工事を委託（当初工事委託料４４，１２０千円）し、快適で住みよい生活環境を目指し、昨年より着手されていますが、令和７年２月から実施予定のスロープ整備が未着手であります。そこでお尋ねします。 (１) 駅舎等の改修工事委託契約内容及びその工程並びに工事期間等は。 (２) 工事説明会後の地域長及び地域利用者の意見調整と J R 西日本との協議結果等は。 (３) J R 西日本が駅舎トイレを撤去されるが市の考えは。
質問事項： 巡回パトロール及び住民の声から	
質問 要 旨	１ 相楽中部消防組合消防本部庁舎の完成も近づいているが、隣接する市道等の改良計画は。 ２ 府管理河川鳴子川等に、土砂が堆積し雑草が繁茂している状況である。豪雨災害に備え府への要望をすべきと考えるが要望をしているのか。 ３ 市道の路肩等に危険を促すバリケード・表示コーン等設置されているが復旧の見込みは。 ４ 国では、備蓄米の販売を５ｋｇ当たり２，０００円前後とされているが、木津川市では、国の交付金を利用した取組は。 ５ ５月３１日市内の山城郷土資料館付近で出没した「ツキノワグマ」の目撃情報による市民への周知及び取組は。

4 堤 征一郎	
質問事項： 市民対応と職員体制について	
質問 要 旨	本市における市職員は、電話対応や窓口対応も含めて市民から高く評価されています。今後も引き続き業務に励んでもらえればと思います。 ただ、今後ますます多様化する市民からの要望に応えるためには、さらなるサービス向上や業務改善が求められます。一方で、窓口におけるカスタマーハラスメントが全国的にも問題となっています。また、働きやすい環境を維持するためにバランスの取れた職員構成が必要だと思っています。そこで、以下の観点から、市の取組状況や今後の方針について質問します。 (１) 市民対応について、どのような指導をしているのか。 (２) 現在の休職者は何人で、そのうち精神的な原因による休職は何人か。 (３) 窓口におけるカスタマーハラスメントについてどのような対策が取られているのか。
質問事項： 市内における交通安全対策について	
質問 要 旨	近年、木津川市内の交通事故がなかなか減らず、死亡事故まで発生しています。先日も城山台の交差点で車両事故が発生しました。木津警察署は事故防止に全力で取り組んでいると思いますが、交通事故発生の防止について、市も協力する必要があると思います。 そこで、以下の点について質問します。 (１) 市内の交通事故は直近の３年間で何件発生しているのか。また、事故多発場所はどこか。 (２) 警察との協力体制はどのようにしているのか。また、防犯カメラの設置について、どのような協議をしているのか。

質問事項：市の会計制度について	
質問 要 旨	自治体における会計制度は業務を支える重要な役割を果たしています。会計制度がぜい弱だと不正経理が発生する可能性が高くなります。本市においては、監査委員による定期監査や会計管理者によって処理の適正性が確保されています。しかし、不正の発生を防止するためにも会計処理の現場において、あらかじめ内部牽制の仕組みを作っておく必要があります。 また、財産や行政コストを明らかにする観点から、複式簿記による公会計が導入されています。 そこで、以下の質問をします。 (1) 公金支出時や現金収納及び現金集金の際に、責任者がどのようなチェックをしているか。 (2) 出納担当者が5年以上業務に従事しているケースはあるか。 (3) 預金通帳と残高証明書のチェックなど、作成書類と元の書類との突合をしているか。 (4) 公会計による財務諸表は、行政の効率化などの資料として活用されているのか。

令和 7 年第 2 回木津川市議会定例会（6 月 1 7 日）

一 般 質 問 通 告 書

1	谷口 英子
	質問事項： 産業振興を中心政策に据えてまちを活性化しよう
質問 要 旨	木津駅前のお店がまた一つ閉まりました。駅前の一等地なのに建物もなく、空き地に看板が立ってあったり、駐車場になっている場所や低層の建物が目に付きます。過疎地域と言われている加茂のみならず、中心市街地であるべき木津駅周辺ですら活気が失われつつあるのではと気がかりです。 木津川市が誕生して間もなく 20 周年を迎えようという今、本市の産業振興・中心市街地活性化の在り方を抜本的に見直す必要があると考えます。そこでお聞きします。 (1) 本市の産業振興に取り組む体制についてご説明ください。 (2) 今から 27 年前の平成 10 年に国が定めた通称「中心市街地活性化法」では中心市街地活性化のために市町村が基本計画を作ることができるとしています。「木津川市中心市街地活性化基本計画」を策定する予定がありますか。 (3) 市内に立地する企業をどのように把握していますか。 (4) 地域経済をけん引する企業とどのような連携をしていますか。 (5) 本市の観光戦略についてご説明ください。 (6) 中心市街地活性化にける市長の思いをお聞かせください。
	質問事項： 「特色ある学校給食」を打ち出して市の農業の魅力を高めていこう
質問 要 旨	「夢見る給食」というドキュメンタリー映画があります。全国で進むオーガニック給食の挑戦の様子を伝える映画で、有志による自主上映会が各地で開かれています。 国は 2021 年の「みどりの食料システム戦略」において、2050 年には有機農業用の農地を今の 33 倍以上に増やす大胆な目標を立てました。農薬の使用を 50%、化学肥料を 30% 削減することも決定しています。この目標を達成するには、私たちの住む木津川市においても有機農業の農地が 33 倍に増え、農薬や化学肥料の削減が大幅に進む必要があります。そこでお聞きします。 (1) 学校給食の地産地消率をどのように上げていきますか。 (2) 12 月 8 日は有機農業の日です。年に一度、有機栽培された食材を使って給食を提供する「オーガニック給食の日」を本市でも実施されてみてはいかがでしょうか。 (3) アメリカ、カナダ産の小麦の 90% 以上からグリホサート（農薬）が検出されたという農水省の報告があります。より安全な小麦で作られたパンを子どもたちに食べさせるために、荒廃農地又は管理不全地等を活用して小麦栽培を行い、学校給食で提供してはどうですか。 (4) 給食無償化が現実味を帯びてきました。食材選定基準を作って質の保証をしてはどうですか。 (5) 学校入学前のお子さんのいる保護者を対象とした給食試食会・センター見学会を実施してはどうですか。また、地域の方にも給食を身近に感じてもらう取組をしてはどうですか。 (6) 有機農業を推進する上で、市の最高責任者である市長のリーダーシップが重要です。市長の有機農業や給食に対する思いをお聞かせください。
	質問事項： 化学物質の被害から市民と環境を守れ
質問 要 旨	令和 5 年の 9 月議会で香害がもたらす健康被害・化学物質過敏症について取り上げました。質問後、香害についての説明が市の H P に掲載されるなど一定の対応はしていただいたものの、状況はさほど変わってはいません。アメリカやカナダでは、行政機関、学校、大学、研究施設、病院などで、香料自粛を呼びかけていると聞きますが、日本においては因果関係が不明だとして規制されていません。そして化学物質に苦しむ患者は増え続けています。 また、プラスチックによる海洋汚染、土壌汚染、大気汚染が地球規模で深刻化しています。身近なところでは農業とプラスチックという問題もあります。そこでお聞きします。

質 問 要 旨	(1) 学校における香害対策・化学物質対策に進展はありますか。 (2) 不特定多数の市民が利用する公共施設において香害対策をされていますか。 (3) 化学物質過敏症・シックハウス症候群・電磁波過敏症等の、市民を想定した避難所運営マニュアルを作っていますか。 (4) 農地における廃プラスチック削減やプラスチック被覆肥料の被膜殻流出について市の取組はありますか。 (5) 市長の脱プラスチックにかける思いをお聞かせください。
------------------	--

2 草水 基成	
質問事項： 安心できる地域づくりのための早期発見と対応の重要性	
質 問 要 旨	社会課題解決には、先進事例を取り入れるなど早期発見と対応が不可欠です。これにより、問題解決の早期解決や負担軽減、安心した暮らしの実現につながります。次の点について伺います。 (1) 発達障害などを早期に発見して就学前に必要な支援につなげようと、こども家庭庁は全国の自治体での5歳児健診の実施を目指し、自治体への補助を引き上げるなど支援を強化しているようです。本市の見解をお聞かせください。 (2) 多くの企業が人財不足を抱える中、少子高齢化が進み、働きながら家族の介護を担う「ビジネスケアラー」は増加傾向で、介護離職という最悪の状況を防ぐために、国や自治体はさまざまな取り組みを行っています。本市のビジネスケアラーの把握状況や将来の動向を含めて、どのように捉えているのかをお聞かせください。
質問事項： 人財育成や産業の活性化に向けて	
質 問 要 旨	人と産業を育てることは、夢や希望を持ち、自分らしく活躍できるまちづくりの基盤です。働き方や暮らし方の選択肢を充実させることで、多様な人々が活躍できる環境に整えられ、地域の未来をより豊かにしていくと期待されます。そのためにも多様な機会や資源などを有効活用していただきたいです。次の点について伺います。 (1) 2024年12月に全国の小学生・中学生・高校生、計3,000人を対象に行った「大人になったらなりたいもの」アンケートの民間企業の調査結果によると、小学生女子では「パティシエ」、小学生男子と中高生では「会社員」が5年連続で1位をキープしているようです。本市の小学生、中学生はどのような職業を夢見ていますか。お聞かせください。 (2) 地域農業を維持するために、「誰が・どこかの農地で・どのような作物を・どのように栽培するか」など、地域農業の将来の在り方について、地域のみinnで話し合い、地域のみinnで作りあげた将来計画である「地域計画」は、令和7年3月に8つの地域計画が策定されました。策定にあたって共通する課題などをお聞かせください。 (3) 京都産業大学法学部山田ゼミの学生から、空き家を古民家ホテルに改修するご提案がありました。茶摘みなどの体験や寺社仏閣の観光などの拠点として、1棟を丸ごと貸したり、ゲストハウスなど、さまざまな宿泊施設を用意し多くの需要を受け入れることで、地域経済に収益効果が見込めるのではと分析されています。本市の見解をお聞かせください。
質問事項： 府県境に関わる問題について	
質 問 要 旨	全国各地で県境を越えて連携し、地域経済の活性化に取り組んでいます。木津川市と奈良市は包括連携協定の締結や経済、文化などつながりが深い両市です。互いを尊重して早期に問題を解決し、共に経済効果が得られるよう期待しています。次の点について伺います。 (1) 奈良市の新ごみ焼却施設候補地の再選定を行った「奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会」は、今月3日に対象となっていた7カ所の候補地のうち「七条町」「北之庄町」「大和田町」の3カ所を建設地として適しているとする答申書を奈良市長に提出されました。浄瑠璃寺南側の山林地区は4番目でした。本市はどのように捉えているのかお聞かせください。 (2) 昨年9月末に道路占用が不許可となっても門扉が撤去されず、府県境施設が実質的に市道を占拠しているような状態が現在も続いています。本市としての認識と進捗状況をお聞かせください。

3 高岡 伸行	
質問事項： 24号バイパスの愛称を公募しては	
質問要旨	城陽井手木津川バイパスは、府南部地域の発展には欠かせない道路であります。 このバイパスは木津川市を含め、府南部地域を全国に発信できるチャンスであると捉え、バイパスのネーミング（愛称）の公募等を行うべきと考え質問します。 (1) 全国に目を向けますと、三重県鳥羽市、志摩市でのパールロード、長野県松本市、茅野市のビーナスライン等が挙げられますが、将来的ににぎわい拠点の計画もある中、ネーミングは大切であると感じており、将来を見据えた見解をお尋ねします。 (2) 本市が設置しているプロジェクトチームのリーダーが、整備促進協議会において愛称を募集するよう取組を進めるべきでは。
質問事項： 独自の物価高対策を	
質問要旨	物価高が続いている現在、多くの市民は給料の賃上げが追い付かず、日常生活に影響をきたしていると感じております。 そこで、市民に寄り添った施策が必要だと考え、提言させていただきます。 現在、市では物価高騰対策として、学校給食費や保育所での副食費の物価高騰分を支援しており、今議会でも補正予算案が提出されておりますが、市独自の取組として、全ての市民に行きわたるように、水道料金の基本料金を数か月間無償化にしてはどうですか。
質問事項： 給茶機の設置を	
質問要旨	茶文化発信の一つとして、本庁舎1階入口に給茶機を設置し、市民に地元産のお茶を飲んでいただけるようにすべきでは。

4 福井 平和	
質問事項： 指定地域共同活動団体の制度導入と地域運営組織の形成について	
質問要旨	地方自治法の一部改正により、指定地域共同活動団体の制度が創設され、令和6年9月26日から施行されています。この制度は、人口減少・少子高齢化の進行と相まって、地域課題の多様化・複雑化がより一層顕在化することが懸念されることから、コミュニティ組織、NPO、企業といった地域の多様な主体が連携・協働し、役割を分担し合って、住民の快適で安心な暮らしを持続可能なものにするため、市町村が条例によりこれを指定地域共同活動団体として指定し、当該団体の活動を支援するとともに、関連する他の団体の活動との調整を行うことができることとなっています。 また、この制度とは別に総務省等では、地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心になって住民共助による見守り・交流の場や居場所づくり等に持続的に取り組める地域運営組織（RMO）の設立を提唱し、令和6年度には地域運営組織が全国で8,193団体確認され、多様な形態の事例紹介や財政支援などで後押しを行っている状況にあります。 いずれも導入に際しては、市の自主的な判断のもと、地域が抱える課題とそのための解決方法を市民と共に再考する一つの契機となり、創意工夫と知恵が大いに発揮される必要があると考えます。 そこで、これらについて次の点を問います。 (1) 指定地域共同活動団体の制度導入について ① 指定地域共同活動団体とはどのような団体で、指定することの行政効果は。 ② 本制度の法施行から今日までの市の取組は。 ③ 条例で定めることが想定される主な事項は。 ④ 今後の市の対応は。

質 問 要 旨	(2) 地域運営組織（RMO）の形成について ① 市内ではどのような団体等が地域運営組織として活動されていると認識しているのか。 (ア) 地域コミュニティ関係 (イ) まちおこし関係 (ウ) 地域福祉関係 (エ) 農村集落関係 (オ) その他 ② 組織化の必要性、行政との連携や財政支援など、今後、市が取り組む方向性は。
----------------------------	--

令和7年第2回木津川市議会定例会（6月18日）

一般質問通告書

1 小見山 正	
質問事項： 部活動の地域展開について	
質問要旨	1 部活動の地域展開について、庁内で検討中とのことだった。第1回定例会当時からのどのような進展があったのか教えてほしい。 2 事前の聞き取りでは、夏ごろに教職員向けの意識調査を行う予定とのことだったが、どのような方法で調査するのか教えてほしい。 3 今までは、生徒たちが文化・スポーツに触れる権利は学校の部活動を通して確保されてきた。部活動の地域展開で受益者負担が求められるようになると、実質的に保護者が文化・スポーツに触れる権利を買うということになるようにも思えるがどうか。 4 部活動の地域展開を進める上で、行政が行うべき支援は何か。 5 令和5年の第4回定例会で山崎議員が、相楽陸上大会など広域での大会では、その準備のために、普段の部活動の後でさらに練習をしているようだが、このようなやりかたを今後も続けるのかという質問をした。これに対し当時の吉村理事から今後確認していくという答弁があった。現在は、どのような運用になっているのか。
質問事項： 小・中学校の在り方について	
質問要旨	1 小中一貫教育を推進することで、教育現場はどのように変化するのか。また、コミュニティスクールという言葉も出てくるが、学校と地域の関わりはどのように変化するのか。 2 小中一貫教育の実施に向けて、現在の進捗は。 3 市教育委員会は『小中一貫教育の推進について』という資料を令和7年1月27日付で発表した。また、令和5年3月発行の『木津川市立小・中学校の在り方に関する基本計画』24頁以下の「学校再編の方向性」によると、児童生徒数が減少傾向の泉川中学校区及び山城中学校区では、施設一体型の小中一貫校の導入や統廃合の「できるだけ早い段階での対応策の検討が必要」との記載がある。そして、同40頁では、「今後の取組の進め方」が記載されている。協議の流れの中でどのような段階なのか。 4 城山台では、中学校の設置を求める市民の声を聞く。以前の一般質問では、中学校を新設するための土地が無いから難しいとの答弁であったが、将来、城山台小学校の児童数が減少し、空き教室が多くできた場合に、その空き教室を改装して、施設一体型の小中一貫校の中学校などを設置することはできないか。

2 宮嶋 良造	
質問事項： 水道料金の値上げは中止せよ	
質問要旨	1 市長は水道料金等審議会の答申までの日程を早め、水道料金の値上げを急いでいますが、今検討している料金改定のスケジュールと内容はどのようなものですか。 2 3月議会で市長は「料金を見直す際は市民の経済状況を当然考慮します」と答弁しましたが、今後、物価高は収まり、市民の暮らしは良くなっていくと考えているのですか。 3 家族が多い家庭や水を多く使う小規模事業者にとって、水を多く使えば使うほど負担が増える今の仕組みを見直す考えはありますか。 4 水道料金の値上げを回避する手立てを十分に検討されましたか。例えば、①府営水道の料金は適正ですか。②一般会計が負担する基準内操り出しは十分に行われていますか。③一般会計からの基準外操り出しは検討しましたか。④水道施設や管路の修繕・更新、耐震化費用を料金収入で賄うとなれば、さらに料金引き上げが必要になるのではないですか。国費による施設や管路の更新や耐震化が必要なのではないですか。もっと国に求めるべきではないですか。

	5 市が経費の削減と収入の確保に努めるなど最大限の努力をしてもなお、赤字が増えるというのであれば、市民の理解も得られるかもしれません。しかし、そうした努力や姿勢が見えない現状で水道料金の値上げは絶対に認められません。水道料金の値上げは中止すべきです。
質問事項： 会計年度任用職員の待遇改善を図れ	
質問要旨	1 今年度の会計年度任用職員は、どのような状況ですか。①1日の勤務時間が一般職員より15分間だけ短い職員数は（男性、女性別に）。②週勤務20時間以上の職員数は（男性、女性別に）。③週勤務15.5時間から20時間未満の職員数（男性、女性別に）は。それぞれ何人ですか。 2 会計年度任用職員制度以前から非常勤職員、嘱託職員として勤務し、現在の会計年度任用職員として務めている職員は何人いますか。勤務年数別に示してください。 3 年次有給休暇と病気休暇などの特別休暇は、一般職員と同様に保障されていますか。 4 国の通知に従って、①1日7時間30分の勤務をフルタイム勤務にする、②週勤務15.5時間以上の職員に期末勤勉手当を支給する、③一般職員と同様の休暇を保障するなど会計年度任用職員の待遇を改善すべきではないですか。
質問事項： 戦後80年、被爆80年に木津川市はどのような平和の取組を行い、平和の誓いを発信するのか	
質問要旨	1 戦後80年、被爆80年の意義を市長はどのように考えていますか。 2 戦争を体験した市民は年々少なくなっています。戦争や被爆の恐ろしさ、悲しみをどのように継承していきますか。 3 市長は、6月26日に木津川市を通る国民平和大行進の参加者を激励し、自らも行進に参加してはどうですか。 4 非核平和都市宣言の記念碑を建立してはどうですか。 5 日本政府が核兵器禁止条約に調印・批准するように働きかけてはどうですか。

3 山本 しのぶ	
質問事項： 高の原幼稚園など公共施設の活用に市民参画の考えは	
質問要旨	平成元年に開園して以来36年間、地域の子供たちの育ちの場であった高の原幼稚園が今年3月20日に閉園しました。令和4年6月、福井議員が高の原幼稚園の跡地活用について、一般質問を行いました。その時に、前市長は、次のように答弁されています。①兜台地域や相楽台地域の皆さんから要望を頂いている。②公共施設設置の要望である。③高の原幼稚園の閉園後の活用方法の一つとして全世代向け交流施設も考えられる。そこで、次の点についてお聞きします。 (1) 令和7年3月に実施されたサウンディング調査の結果をお聞きします。 (2) 「第4次木津川市行財政改革大綱」の重点戦略4「公共施設の最適化」に、市民参画による理解と協力を得ながら、公共施設の最適化を目指すがあります。兜台地域や相楽台地域住民のニーズや意見の把握に努めていますか。 (3) 令和2年3月に機能を廃止した「山城学校給食センター」の活用について、地域のニーズや住民の意見の把握に努めてきましたか。 (4) 施設の利活用について、市民参画と市民ニーズの聴取のために、市長が実施するタウンミーティングを開催する考えは。 (5) 3月議会の一般質問において、市民懇談会開催について対応を検討するとの答弁がありました。検討は進んでいますか。 (6) 「第4次木津川市行財政改革行動計画」の実現戦略22「市民参画による公共施設マネジメントの推進」について、外部評価の結果をお聞きします。 (7) 今後、外部評価をどのように活かしていく考えですか。市長にお聞きします。

質問事項： 奈良盆地東縁断層帯対策は万全か

質
問
要
旨

今年1月15日、政府の地震調査研究推進本部が、地震発生確率が高い「Sランク」の活断層32カ所を発表しました。その1つが、木津川市を通る「奈良盆地東縁断層帯」です。特に注意が必要な活断層とされています。災害は必ずやって来ることを前提に、平時に備えておく必要があります。そこで、次の点についてお聞きします。

- (1) 奈良盆地東縁断層帯について、市の認識をお聞きします。
- (2) 公立小中学校18校のうち、市備蓄品の「水」「食料」「インスタントトイレ処理剤」が保管されているのは、何校で、どの学校ですか。また、各学校に保管されている「インスタントトイレ処理剤」の数と「水」の本数は。
- (3) 旧耐震基準の木造住宅が多い地域には、家屋倒壊対応として災害救助用工具セットや災害用ジャッキが必要です。学校に保管の考えは。
- (4) 災害時協力井戸の登録状況についてお聞きします。
- (5) 24時間、誰でも即座に持ち出せるAEDは、市内に何カ所ありますか。
- (6) 自主防災組織強化や地域防災リーダー育成のために、体験型研修として京都大学防災研究所の視察や、被災者以外の方が実際に災害現場の対応に当たった人達の体験記録を読むことで、当時の出来事を追体験し、知識や教訓を共有する「災害エスノグラフィー」を実施する考えは。
- (7) 奈良盆地東縁断層帯の直下型地震から具体的にどのような被害が想定されるか把握できていますか。市長にお聞きします。

令和 7 年第 2 回木津川市議会定例会（6 月 2 0 日）

一般質問通告書

1 西山 幸千子	
質問事項： こどもたちの成長を見守るために	
質問 要 旨	日本は少子化が進んでいます。少子化対策は難しく一朝一夕ではなかなか解決できません。子育て中の家族が安心して子どもを通わせるためにも、市としては保育施設・保育環境を充実させることが大切です。 (1) 待機児童はどのくらいいますか（国基準とそれ以外）。希望する保育園・こども園に入れず育児休暇を延長した保護者はいますか。また、関連した相談はありますか。 (2) 誰でも通園制度が次年度からスタートします。全体として保育士不足が言われています。その中で、どのように対応していきますか。 (3) 加配が必要な子どもはどのくらい通っていますか。今年を含めて3年間の数字を示してください。保護者の希望に沿った環境になっていますか。
質問事項： トイレトペーパーと同様に生理用品の提供を	
質問 要 旨	物価高騰と米不足で「困っている人」がたくさんいます。コロナ感染症が5類になり2年が経ちましたが、コロナ禍の時には「困っている人」がたくさん声をあげ始めました。今年度から小中学校のトイレに各1カ所ずつですが、生理用品が置かれています。児童・生徒が不安を感じる要因を少しでも取り除くことにつながっています。最初の一步ですが、大きな一歩だと評価します。 三重県では女性県議が「市役所のトイレに生理ナプキンがあれば」とSNSで発信したところ、8千件を超す嫌がらせや殺害予告メールが届き、被害届を出す事態になりました。いまだに女性の置かれている立場が弱いことを示すものであり、社会全体で改善すべきことであると考えます。 (1) 公共施設にトイレトペーパーと同じように生理用品を置くことを考えてはいかがですか。 (2) 災害時の生理用品・おむつ（介護用・子ども用）はどの程度備蓄されていますか。
質問事項： 観光を守るため、市道の現状と対応は	
質問 要 旨	長く懸案事項であった府県境での市道の封鎖問題が、昨年9月に事業者側の約束不履行が理由で「不許可」として決着しました。しかし、いまだに原状回復がされていません。今年に入ってから、時々その事業者のところから脱走したと思われる犬が徘徊し、困っています。 現状はどうなっていますか。市はどのように対応しているのですか。

2 兎本 尚之	
質問事項： 各種計画に影響が出る市の人口減少と課題に対する取組内容の関連性は	
質問 要 旨	市の人口は令和4年9月に8万人を超え、12月末の80,109人から減少に転じ、令和5年4月から8万人を下回り、令和7年5月末では7万9,091人と減少傾向にあります。外国人の住民人口増加により、市の住民人口の減少は緩やかに感じますが、日本人の住民人口を見ると令和5年5月末で7万8,860人、令和7年5月末で7万7,715人と2年間で1,145人も減少しています。 第2次木津川市総合計画後期基本計画では、各行政分野において、将来の行政サービス量を設定するために不可欠な将来の目標人口を令和10年8万人としています。また、木津川市人口ビジョン木津川市デジタル田園都市構想総合戦略における将来目標人口と将来推計人口の2025年時を下回り、2030年時もすでに下回っています。 また、2月の行財政改革推進委員会による外部評価の中間報告において、市のさまざまな取組における内部評価に対し、過大評価と判定される項目もあったとのことでした。 そこで質問します。

質問要旨	(1) 日本人の住民人口が2年で1, 145人も減少している要因を自然増減・社会増減を含めどのように分析しているのか。 (2) 将来目標人口を下回っているが、市民の希望出生率との差はどれくらいあるのか。また、転出抑制に向けどのような取組をしているのか。 (3) 総合戦略に、目指すべき将来の方向性として、「将来にわたって魅力あるまちを維持していくために自然増と社会増の2つの視点で取り組んでいく」とあるが、自然増・社会増に向け、どのようなことを取り組んでいるのか。 (4) 若い世代がどうすれば市に定着するか、ふるさと木津川への想いを醸成するためにはどうすれば良いかを話し合うため取り組んでいる若者会議事業では、6年度にシビックプライドメッセージ[Cute]を作成した。若者会議事業の目的と成果指標は。 (5) 地域おこし協力隊事業の目的は、「高齢化が進行する南加茂台地域について、自分たちの住んでいる街に愛着を持つとともに、他の地域からも住みたいと思えるような街となること」である。そのために、南加茂台地域をテーマとした地域情報誌を定期的に発行することにより、人と人との結びつきが深まり、交流の広がりや、新たな魅力の発見や創出に繋げていくと7年度予算の附属資料にあるが、具体的な取組内容と成果指標は。 (6) 企画事務事業の京都産業大学連携事業は、「ちょこっとながも」の規模を拡大するようなライドシェアの提案など8つの提案があった。今年度はどのように進めていくのか。 (7) 外部評価、若者、議会や監査など、行政の視点とは違う視点からの意見や指摘をどのように受け止めているのか。
質問事項： 政策の確認と提案	
質問要旨	1 米不足による米の小売価格の高騰に対して、市民のために市として問題意識を持ち、今後取り組んでいく政策は考えているか。地産地消、休耕田対策もかねて、市民が米農家と直接繋がりやすい仕組みを構築してはどうか。 2 学研木津北地区里地里山保全基金だけにいつまでも頼っているのではなく、木津北地区の今後の活用方法を考えていく必要があるのでは。森林公園とは違う方向性で、子どもと一緒に大人も楽しめる空間としてフィールドアスレチックなどはどうか。財源は、クラウドファンディング、ふるさと寄付金でやる気と営業で進めることができるのでは。 3 病気や退職による職員の不足も理由と考えるが、事務的ミスも続いている。定員適正化計画の進捗と見通しは。また、現在の職員の能力向上に向けた人材育成方針だけでなく、人材育成計画が必要では。 4 Cuteなまち、木津川市に対するシビックプライドを育むことに繋げていく手法は。また、市のLINEスタンプを作成する考えは。 5 過疎対策事業債の活用実績が、現れていないように感じる。過疎地域持続的発展支援交付金の活用実績は。次期過疎地域持続的発展市町村計画の策定に向けた検討状況は。数値目標など具体的な実施計画を策定する考えは。また、過疎対策は木津川市プロジェクトチーム設置規程に該当する事象と考えるが、市の見解は。 6 市民に安定して安心な水を供給する体制を維持していくためにも水道料金の値上げが必須な環境になってきている。しかし、以前の補正予算特別委員会で指摘をしたように受益者負担の原則と、税金による水道事業会計負担事業の基準内繰出の見直しを検討するべきでは。 7 他の自治体でも進みだした時代の変化に合わせた開庁時間の研究・検討をしてはどうか。市民サービスの低下のように見えるが、住民票のコンビニ交付など利便性の向上は行われてきている。また、働き方改革の推進や残業代の縮減などのメリットも多い。最低でも今の開庁時間を前後15分ずつ短くすることは、市民に理解される時代、組織の運営状況だと考えるがどうか。 8 少し気が早いですが、来年度予算査定の時期を考えるとこのタイミングで1度確認しておきたい。合併20周年に向けて記念行事などの考えは持っているのか。10周年の時はどうだったか。

3 大角 久典	
質問事項： 安全対策について	
質問 要 旨	1 事故の多い城山台中央交差点は、小学校の通学路に指定されている。ガードパイプが壊されたままの状態では危険であるが修復の予定は。また、城山台8丁目の住宅内から国道に出る道と駅東口に出る道が一か所しかない。住民から不便との声を聞くが市の方にそういう声はないか、また、改善の計画はあるのか。 2 梅美台地域・州見台地域にある企業訪問から鹿の被害で困っているとの要望があるが、対応は。 3 4月10日午後5時50分頃、帝塚山学園のグラウンドで雷が落ち、部活動中の生徒6人が病院に搬送されました。当時の状況はグラウンドでサッカー部、野球部、硬式テニス部の生徒114人と顧問教員8人が活動中でした。雷鳴や稲妻といった前兆はなく突発的な落雷に見舞われたと報道されている。この日は奈良県全域に雷注意報が出されていたが、サッカー部の顧問2人は注意報を把握していなかったということです。本市の雷注意報時の対応は。 4 これから暑い夏を迎えるにあたり学校における熱中症対策をお聞かせください。国でも職場における熱中症対策の強化について労働安全衛生規則を改正、令和7年6月1日から施行され、事業者が熱中症対策の義務化がなされました。教室にはエアコンの温度設定により快適な環境で授業を受けることができるが、特に体育の屋外授業では熱中症にならないように適度な水分補給をするなど工夫されると想像します。どのように対応されるかお聞かせください。
質問事項： 物価高騰対策について	
質問 要 旨	補正予算第3号では、物価高騰対応重点地方創生臨時交付金を活用し、若者の読書・学習を支援する若者応援給付事業や、高齢者の生活に必要な移動を支援する高齢者移動支援事業、家計への支援としてプレミアム商品券事業など幅広く物価高騰対応施策を提案されていると評価します。 そこで、下記の点でお聞きします。 (1) 若者応援給付事業の16歳から22歳を対象とした5,000円分の図書カードの配布について、高校生から大学生を対象とした理由は。 (2) 高齢者移動支援事業について タクシー券だけでなくガソリン券としても使える選択肢もあり利用される方が多いと予想される。家族を介護されている方にも使えることをしっかりと周知するべきと考えるが周知方法は。 (3) 家計への支援としてのプレミアム商品券事業について 毎年好評のプレミアム商品券事業との認識であるが、これこそ一部の方のみにならないように工夫が必要と考えるが見解をお聞きします。
質問事項： 防犯・防災活動について	
質問 要 旨	1 一人暮らしの高齢者を狙った詐欺事件が後を絶たず、毎日のように公式LINEで報告があり不安を感じている方が多いが、対策は。 2 総合防災マップが更新され、市内全戸に配布されました。そこには在宅避難が推奨され、次に車中泊、最後に避難所への誘導が挙げられています。市の防災訓練を地域の特色にあったものへと変えていくことをご提案します。また、以前木津川台小学校で行われた防災訓練に参加した際に、1か所にペットが集められていましたが、その方法ではさまざまな課題が生じると感じました。ペットを飼っている家庭向けの講習会も取り入れてはいかがでしょうか。 3 毎年1回、市の防災訓練が行われているが、参加人数に地域の差が生じています。防災意識の高いところでは多くの参加者が集い、活動されていますが、少人数のところもあります。参加しやすいゲーム感覚や子どもから大人が楽しめる体験型の防災イベントを実施すれば、災害を自分ごとに取り入れることができ、顔が見えてコミュニケーションが深まることが期待できます。 そこで、防災スポーツを自主防災活動や市の運動会の種目の一つとして取り入れてはいかがでしょうか。防災スポーツとは、災害時に役立つ行動をスポーツとして楽しみながら体験することで、防災意識を高め、実践力を身につけることを目的とした活動です。2023年10月に東京都千代田区立昌平小学校で防災学習プログラム「防災スポーツ／防リーグ」の授業が行われました。大変好評であったと聞いています。本市の見解をお聞きします。